

越代地区地域づくり懇談会

平成25年1月15日(火)
大久田集会センター 午後 1:30 ~ 3:30

越代地区では、平成16年度より「サクラ保存会」や「じねんじょ倶楽部」が中心となり懇談会を開催し現在では「おおぎの会」も加わり、地域づくりを進めて来ました。観光シーズンには県内外から多くの人々が訪れています。毎年行われる「さくらまつり」では地元の人たちの案内やライトアップ等を実施し“まつり”を盛り上げています。しかし、課題や問題点も数多く抱えています。

今回は、この地区のシンボルである「越代の桜」を守っていくために大切なことなどを、(財)福島県都市公園・緑化協会 みどり事業課長で樹木医の鈴木俊行先生にお話しをしていただきました。また、「おおぎの会」会長 水野浩子さんが地域づくり活動の報告を発表されました。そして、最後に参加者で地域のことについて懇談しました。

- 1 開会 (13時30分)
- 2 あいさつ (13時30分~13時40分)
大久田区長
- 3 出席者紹介
- 4 講演 (13時40分~14時30分)
「さくらの管理のポイント」
福島県都市公園・緑化協会
みどり事業課長 「樹木医」鈴木 俊行氏
- 5 事例紹介 (14時30分~14時50分)
「越代の桜周辺の地域づくり (古殿町)」
おおぎの会 会長 水野浩子さん
- 6 懇談



このあたりの枝が弱っている

○講演 「さくらの管理のポイント」



【みどり事業課長 鈴木 俊行氏】

桜を守るために大切な事

- 桜の性質について・・・ 桜の種類、葉の形態、桜の花びらと色、桜の木肌、桜の根は浅く広がる
- 桜を植える時の注意点 日当たりの良い場所、植栽間隔8m
- 桜の保全について・・・ 剪定時期、予防防除、開花時期のモニタリング
- 越代の桜の状況変化・・・ 地形改変した結果、地下水の流れが変わり、桜の根から、水分が吸収しにくくなり弱ってきている。
- 今後の管理・・・・・・ 今後、1000年活かすには昔の地形に近づけることが重要

○越代の桜周辺の地域づくり

- 越代のサクラ保存会
- じねんじょ倶楽部
- 越代の延命の清水保存会
- 越代のサクラまつり実行委員会
- おおぎの会

○おおぎの会地域活動

- 桜周辺の草刈りや花植
- 特産浜づくり (地元杉の活用)
- 地区のオリジナルロゴマーク作成
- 伝統食 (郷土料理) を作っての交流会

【おおぎの会 会長 水野浩子さん】



○地域づくりの課題

- 樹齢400年の越代の桜や延命清水の保存
- 資金不足、保存の為に活動資金
- アクセス道路、駐車場、トイレ等の整備、
- 案内看板不足、県道自体がカーナビで表示されない。
- 収入につながらない
- 高齢化と後継者不足
- 町内での温度差
- ゴミが増加

○懇談内容

- 越代の桜が枯れてきた部分の対応
→桜にとっては昔の地形に戻すのが一番良いが、道を迂回させるか、舗装を剥がして、水脈を確保して戻すという原形保存等の方法を考えなければいけない。桜の保全策については十分問題認識を持ったので、もう少し時間をかけて検討していきたい。